令和６年度

事業報告書

〔事業報告及び事業報告の附属明細書〕

自　令和６年４月　１日
至　令和７年３月３１日

社会福祉法人大野町社会福祉協議会

はじめに

近年、少子高齢化、核家族化の進行とともに、血縁や地縁が希薄化し地域の福祉課題は複雑かつ多様化の一途を辿っています。このような中、分類ごとの縦割支援だけでは対応が困難な「生活困窮と親の介護」「子の療育と障がい」といった複合的な課題が顕在化しており、経済的支援に加え、精神的なサポート、医療・介護の情報提供など、全体を見据えた包括な支援が求められています。その対応には、従来の枠組みを超えた、多分野間での連携支援や、アウトリーチの強化、そしてボランティア、地域の見守り、相互扶助といった地域共助の活性化が不可欠です。

本会は、基本理念・スローガンである『「助け合い」「支えあい」で育む笑顔があふれる おおの ～みんなのあったかまちづくり～』の実現に向け、世代を超えた支えあいとつながりを育み、誰もが安心して暮らせる温かいまちを目指し、住民・福祉団体・関係機関と連携のもと事業を展開しています。

地域の複合化する課題に対しては、属性や世代に捕らわれることなく、支援のあり方を行政と協議し対応を進めるとともに、支援体制の整備に注力しました。同時に、地域の支えあいを推進するため、見守り拠点となるサロン活動の運営支援、ならびに福祉懇談会の開催を通じ、地域課題や潜在的なニーズの把握に努めるとともに、支援者間の情報共有と連携強化を図りました。また、次世代育成として、小・中学生を対象に、地域社会へ主体的な関わりを促す契機となるよう講座を開講し、これにより、福祉への関心・理解を深め、ボランティアに必要な、基礎知識や技能習得の機会を提供しました。さらに、頻発する自然災害に備え、災害時に被災者支援の中核を担う「災害ボランティアセンター」の運営訓練や、減災・防災に関する福祉講演会を、大野町ボランティア連絡協議会と協働で実施し、地域全体の防災意識向上を図っています。

子ども園事業、介護保険事業、障害福祉サービス事業など各種福祉事業部門においては、公的福祉サービスの安定的かつ質の高い運営を通じて、地域住民が安心して生活できる基盤の整備に取り組んでまいりました。

令和６年度事業の状況は下記のとおりです。

法人本部拠点

体　制：正職員７名、パート職員２名
財　源：会費、寄附金、町補助金、町受託金

1　法人運営事業

事業費：予算額　４０，６７０千円　決算額　３９，３００千円

⑴ 運営体制の強化

令和５年度事業・決算報告、令和６年度補正予算、令和７年度事業計画・予算をはじめ、理事及び評議員の選任等を審議した。

【理事会・評議員会等開催及び出席状況】

会議名	議決日	議案	理事 (全9名)	評議員 (全15名)	監事 (全2名)	外部委員 (全2名)
理事会	令和6年6月7日 (金)	14	8	－	2	－
評議員選任解任委員会	令和6年6月7日 (金)	1	－	－	1	2
定時評議員会	令和6年6月26日 (水)	3	－	13	1	－
理事会	令和6年12月6日 (金)	3	9	－	2	－
評議員会	令和6年12月18日 (水)	1	－	13	2	－
理事会	令和7年3月10日 (月)	14	7	－	1	－
評議員会	令和7年3月18日 (火)	3	－	11	2	－

(2) 財政基盤の強化

「社協だより」等を通じて本会の役割を啓蒙し、広報委員のご協力により会員の拡充を図った。一般会費は広報委員を通じて各地区に協力を依頼し、法人会費については郵送にて、納付書による振込を依頼した。

【会費納入状況】

区分	一般会費	特別会費	法人 (賛助) 会費	合計 (口)	金額 (円)	前年対比 (%)
R6年度	6,528	1	146	6,675	3,996,000	100.8
R5年度	6,583	1	134	6,718	3,963,500	101.6
R4年度	6,565	1	123	6,689	3,899,500	99.1

1口：一般会費 500円／特別会費 2,000円／法人 (賛助) 会費 5,000円

【寄附金収入状況 (法人全体)】

区分	件数 (件)	金額 (円)	前年対比 (%)
R6年度	9	361,607	132.6
R5年度	10	272,743	72.1
R4年度	8	378,435	38.0

【共同募金配分金額】 (単位：円)

区分	一般募金	歳末たすけあい	合計	前年対比 (%)
R6年度	1,826,763	1,175,726	3,002,489	108.6
R5年度	1,712,604	1,051,731	2,764,335	103.6
R4年度	1,713,888	953,536	2,667,424	103.7

(3) 社会福祉功績者表彰式

福祉活動に関する協力者に対して感謝の意を表し、福祉のまちづくりをさらに推進することを目指し、社会福祉功績者表彰式を大野町表彰式典時に執り行った。

実施日	令和6年11月2日 (土)
場　所	町総合町民センター　ふれあいホール

区分	被表彰者	該当者(名)
表彰	民生委員・児童委員	3
	福祉委員	1
	社会福祉協議会役員	1
	社会福祉団体役員	3
	社会福祉施設職員	10
	ボランティア活動者	13
	サロン活動代表者	1
	社会福祉協議会職員	3
計		35

⑷ 福祉用具貸与

介護保険対象外の高齢者、身体障がい者及び一時的に福祉用具が必要な方などに福祉用具の貸出を行った。

【貸与状況】 (単位：台)

区分	所有数	貸出（延）
車椅子	29	55

⑸ 福祉団体等への活動支援

各種団体の自立的な活動を支援し、助成することにより社会福祉活動及び自主運営の促進を図った。

【助成概要】

交付団体	6団体
交付金額	1,039,700円

⑹ 広報活動の充実

地域福祉活動に対する理解や、本会の各種事業への参加や理解を得られるように、広報委員の協力を得て「社協だより」を各世帯へ配布するとともに、ホームページを活用した情報提供を行った。

⑺ 地域福祉活動計画に基づく福祉事業の推進

平成３１年３月に策定した大野町地域福祉活動計画に基づき、地域における様々な福祉課題について町と連携を図りながら、目標に沿った事業の実施を行った。

⑻ 法人後見事業

認知症、精神障がいまたは知的障がい等により意思決定が困難な方の判断能力を補い、生活医療・介護・福祉等の活用に向けた事務的支援や、利用者本人の財産を管理するための法的な手続き等に関する研修を受講し、援助に必要な体制を整えた。

・サービス利用者　実績なし

2　ボランティアセンター事業

財　源：会費

事業費：予算額　２７３千円　決算額　１１９千円

ボランティア活動への積極的な参加促進のため、広報活動を実施し、地域住民に向けた啓発を行った。また、ボランティア連絡協議会と連携を図り、ボランティアに関する情報提供など自主的な活動に繋がるよう相談や連絡調整等の支援を行った。

⑴ 広報活動による啓発

「社協だより」に、ボランティア団体の活動紹介や会員募集を掲載し、地域住民がボランティア活動に関心を持てるよう意識啓発を図った。

⑵ ボランティア支援

ボランティア活動を希望する住民に対し、電話などを利用してボランティア団体の紹介及び活動に関する相談援助や連絡調整を行い、地域住民の主体的な活動を支援した。

区分	相談(件)	調整(件)
R6年度	15	16
R5年度	6	12

⑶ 災害ボランティアセンターの体制整備

大規模災害発生時に開設する災害ボランティアセンターの早期の設置及び円滑な運営を行うため、町内ボランティア団体及び大野町の協力のもと運営訓練を実施した。また、共同募金配分金を活用した資材の整備を行った。

【運営訓練】

実施日	令和6年12月21日（土）
参加団体	・大垣青年会議所 ・ボランティア団体（7団体） ・災害ボランティア登録者 ・町民生部福祉課 ・本会役員、職員 他
参加者	45名

⑷ ボランティア連絡協議会との連携

ボランティア連絡協議会と連携を深め、運営委員会・福祉講演会等の開催支援や、災害ボランティアセンター運営訓練・街頭募金活動等の本会事業の実施に関する協力要請を行いボランティア活動と地域福祉の向上に努めた。

【年間事業】

登録団体数	15団体（321名）
活動内容	・運営委員会（4・6・8・9・10・11月） ・つどい・福祉講演会（5月） ・ボランティアスクール（炊き出し体験）（8月） ・福祉のふれあい広場（11月） ・災害ボランティアセンター運営訓練（12月） ・街頭募金活動（11・12月）

【人材養成】

実施日	令和6年5月31日（金）
場　所	町総合町民センター　大会議室
内　容	・福祉講演会　演題　「写真家が見た被災地の復興 ～減災・防災に備えて～」 講師　岐阜ユネスコ協会理事　三浦　寛行氏
参加者	65名

(5) 共同募金街頭募金運動への協力

町内の道の駅・役場前の駐車場にて、ボランティア連絡協議会と小中学校児童生徒の協力により、募金活動を行った。

会場	実施日	参加者（名）	募金額（円）
おおのフェスタ	令和6年11月3日(日)	59	55,716
パレットピアおおの	令和6年12月7日(土)	25	39,865

(6) ボランティア活動保険加入促進

町内のボランティア活動者の保険加入手続きを行った。なお、ボランティア連絡協議会会員には保険料の補助を行い、活動を支援した。

・保険加入者数：677名

(7) フードバンク事業

寄附された食材について県社協等と連携し、町内で活動する子どもの居場所や生活困窮者へ配布・調整を行い、子どもの居場所を応援したい企業・個人等の支援を行った。

・食糧支援等のマッチング　112件（個人83件、子どもの居場所29件）

3　生活福祉資金貸付事業

財　源：県社協受託金

事業費：予算額　４９８千円　決算額　４９７千円

岐阜県社会福祉協議会からの委託により、民生委員・児童委員と連携を取り、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、資金貸付事務及び必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう相談援助を行った。また、新型コロナウイルスの影響による収入減少等の経済・生活不安を抱えた方に対する特例貸付について償還免除に関する相談及び申請の支援を行った。

【本則】

区分	R6年度				R5年度			
	窓口相談	貸付決定	償還完了	貸付中	窓口相談	貸付決定	償還完了	貸付中
緊急小口資金	10	1	0	4	0	1	0	3
総合支援資金	2	0	0	1	5	0	0	1
福祉資金	6	0	0	2	7	0	0	2
教育支援資金	1	0	0	1	1	0	1	1
不動産担保型生活資金	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	20	1	0	8	14	1	1	7

【特例】

区分	R6年度		R5年度	
	償還完了	貸付中	償還完了	貸付中
緊急小口資金	29	40	1	72
総合支援資金(初回)	0	21	0	24
総合支援資金(延長)	0	5	0	5
総合支援資金(再貸付)	0	16	0	22
合計	29	82	1	123

※特例貸付の申請受付は、令和4年9月30日に終了。

4　心配ごと相談事業

財　源：会費、町補助金
事業費：予算額　１３５千円　決算額　１３３千円

⑴ 心配ごと相談

人権擁護委員、行政相談委員、弁護士に相談員として協力いただき、地域住民の日常生活での困りごとなどを対象とした相談所を開設した。

相談日	時間	場所	相談員
第1火曜日	午後1時～3時	町福祉センター	人権擁護委員
第2火曜日			行政相談委員
第4火曜日			弁護士

【相談内訳】　（単位：件）

区分	生計	職業	住宅	家族	離婚	健康	医療	人権	財産	事故	教育	福祉	苦情	その他	合計
R6年度	1	1	4	8	0	1	0	0	9	0	0	0	0	19	43
R5年度	2	1	7	8	7	1	0	1	15	0	0	0	1	18	61
R4年度	2	1	4	4	6	0	0	14	15	1	0	0	4	14	65

⑵ 結婚相談所の開設

心配ごと相談日に、ぎふ広域結婚相談事業支援ネットワークと連携し、「大野町社会福祉協議会結婚相談所」を開設し、町内在住者の結婚相談支援を行った。

【対応件数】　(単位：件)

区分	相談	登録	閲覧
R6年度	4	3	0
R5年度	11	3	0
R4年度	3	1	0

⑶ よろず相談事業

生活上の困りごとや心配ごとを窓口や電話で聞き取り、悩みに応じたサービスや相談窓口を案内するなどの調整を行ったほか、必要に応じて関連機関への情報提供等の支援を行った。

【対応件数】　(単位：件)

区分	対応内容				合計
	聞取り	訪問	調整	その他	
R6年度	5	9	21	37	72
R5年度	9	4	24	30	67
R4年度	6	0	33	10	49

5　福祉サービス利用援助事業

財　源：県社協受託金
事業費：予算額　５０６千円　決算額　３２８千円

・日常生活自立支援事業

岐阜県社会福祉協議会からの委託により、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービスを、生活支援員と連携して進めた。また、利用者の困りごとに対し、必要に応じ関連機関へつなぐ等、伴走型の支援を行った。

区分	利用者
在宅生活者	2名
施設入所者	2名

【対応件数】　(単位：件)

区分	生活支援員	専門員	合計
	利用援助・金銭管理	生活の困り事等	
R6年度	50	47	97

6　生活困窮者自立支援事業

財　源：県社協受託金、町受託金
事業費：予算額　１，８７３千円　決算額１，８７２千円

⑴ 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の早期発見と自立支援に向けて、県福祉事務所・町福祉課との連携により、包括的・継続的な支援を図れる体制を取った。

⑵ 生活困窮者就労準備支援事業

分野や世代を問わず、住民が抱える複雑化・複合化した課題を包括的に受け止め、課題の解決に向けて、多機関と連携し、対象者の自立に向けた支援を行った。

【対応件数】　(単位：件)

区分	窓口	訪問	電話等	合計
R6年度	77	73	68	218

7　福祉推進事業

財　源：会費、町補助金、町受託金
事業費：予算額　１，４７９千円　決算額　１，０７５千円

⑴ 福祉委員活動の支援

各地区から推薦された１２５名の福祉委員に委嘱し、サロン活動等への参加等を通した地域での関係づくりと見守り活動の推進を行った。また、民生委員・児童委員との懇談会や合同研修会、福祉委員代表者会議を開催し、委員同士の連携強化と民生委員・児童委員との情報共有等による活動支援を行った。

【福祉委員委嘱式】

実施日	令和6年4月12日（金）	
場所	町総合町民センター　多目的ホール	
委嘱数	第1地区	28名
	第2地区	41名
	第3地区	16名
	第4地区	14名
	第5地区	12名
	第6地区	14名

【会議等】

会議名	開催日	出席者
地区代表者会議	令和6年4月30日(火)	福祉委員地区代表　計6名
民生委員・児童委員 福祉委員合同研修会	令和6年6月21日(金)	民生委員・児童委員、主任児童委員 福祉委員　計118名
民生委員・児童委員 福祉委員役員代表者会議	令和6年10月18日(金)	民生委員・児童委員　会長、地区代表等 福祉委員　委員長、地区代表等　計15名

⑵ 小地域支え合い活動推進事業

区長及び民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティア団体代表者、サロン代表者等が会し「地域福祉懇談会」を地区ごとに行い、見守りを必要とする世帯についてマップを活用したグループワークを通し情報共有や今後予想される支援等の意見交換を行った。

【地域福祉懇談会】　(単位：名)

開催地区	開催日	参加者				合計
		区長	民生委員・児童委員	福祉委員	その他	
第1地区	令和6年7月11日(木)	9	6	14	8	37
第2地区	令和6年7月11日(木)	6	9	21	8	44
第3地区	令和6年7月12日(金)	5	4	14	4	27
第4地区	令和6年7月9日(火)	3	6	12	3	24
第5地区	令和6年7月10日(水)	8	3	10	7	28
第6地区	令和6年7月3日(水)	10	4	7	4	25

⑶ カフェ活動支援事業

地域住民が気軽に立ち寄れる居場所として、モデル事業である「平和堂」の"まちカフェ"と「大野のわっか」を会場として実施する"よってこカフェ"について、ボランティアと協働のもと実施した。

【カフェ活動状況】

会場	開催数	実施日	参加者数
平和堂	48回	毎週木曜日 午前10時～午後3時	1,522名
大野のわっか	11回	第2火曜日 午前10時～正午	55名

⑷ 集いの場における介護予防推進事業

サロン等の身近な集いの場において、気軽に参加できる介護予防体操の促進を目的に、運動指導者を派遣し、体力測定や体操の指導助言を行うことで、住民が主体的かつ継続的に取り組めるよう支援した。

【実施状況】

実施箇所	参加者数
15	299名

⑸ 福祉教育の推進

町内小学校へ出向き、車いす介助体験やアイマスク等の福祉教育資材を使用した疑似体験の場を提供することで、高齢者や障がいのある方への接し方や理解が深まるよう講座を行った。

また、夏休み期間を利用して小学５・６年生、中学生を対象にした防災や福祉について学ぶ「ボランティアスクール」を開催した。

【講座概要】

場所	実施日	内容
大野小学校	令和6年10月9日(水)	視覚障がい疑似体験
	令和6年12月18日(水)	車いす体験　高齢者疑似体験
北小学校	令和6年6月12日(水)	視覚障がい疑似体験
	令和6年11月20日(水)	車いす体験　高齢者疑似体験
東小学校	令和7年3月6日(木)	高齢者疑似体験
西小学校	令和6年12月4日(水)	視覚障がい疑似体験
中小学校	令和6年6月13日(木)	車いす体験　高齢者疑似体験
	令和6年11月14日(木)	視覚障がい疑似体験
南小学校	令和6年9月19日(木)	視覚障がい疑似体験
	令和6年12月19日(木)	車いす体験　高齢者疑似体験

【R6実績】

場所	対象者	参加者(名)
大野小学校	5年生	55
北小学校	5年生	24
東小学校	6年生	35
西小学校	6年生	28
中小学校	6年生	30
南小学校	6年生	20

【R5実績】

場所	対象者	参加者(名)
大野小学校	5年生	64
北小学校	5年生	27
東小学校	6年生	50
西小学校	6年生	28
中小学校	6年生	28
南小学校	6年生	30

【R4実績】

場所	対象者	参加者(名)
中小学校	6年生	11
西小学校	6年生	21
北小学校	5年生	25
第2地区公民館	小3～5年生	9(2)

【R3実績】

場所	対象者	参加者(名)
大野小学校	5年生	59
南小学校	6年生	26
中小学校	6年生	30
東小学校	6年生	50

※（　）内は保護者数

【講座概要】

事業名	ボランティアスクール
実施日	令和6年8月7日（水）
場　所	町総合町民センター・町福祉センター
内　容	・AED講習会、防災教室〔講師：日本赤十字社　岐阜県支部〕 ・災害用炊飯袋で炊出し体験　〔炊出し協力：大野町赤十字奉仕団〕 ・福祉講座（視覚障がい者による講話、視覚障がい疑似体験、点字教室） 〔講師：岐阜アソシア〕
参加者	18名

[AED講習会]

[講話(障がい者の方の生活について)]

【福祉教育資材貸出】

区分	貸出数	貸出資材
出前講座	10件	高齢者・視覚障がい疑似体験セット、白杖、アイマスク
一般	2件	高齢者疑似体験セット

⑹ 生活支援体制整備事業

高齢者等の生活を支援する体制を整備するため、地域のサロン等の集いの場に出向き、地域課題や住民主体の活動・資源の把握に努めた。また、揖斐郡生活支援コーディネーター会議や地区支えあいの会等に出席し、情報共有を行い活動に活かした。

① 生活支援サービス活動団体支援事業

在宅での生活者に軽微な福祉サービスを提供する、住民参加型地域生活支援サービス活動団体の活動が定着できるよう、補完的な支援を実施した。

【助成概要】

交付団体	2団体
交付金額	688,400円

【支援状況】

団体名	支援内容
くらし応援隊ちょいサポ	団体活動調整会議・困難事例検討会議等の開催　計24回 (利用者及びサポーター活動支援等)
豊木団地ＶＴ会	活動保険助成等

【研修概要】

研修名	生活支援サービス活動団体サポータースキルアップ研修
実施日	令和7年2月19日（水）
場　所	町福祉センター　料理室
内　容	講義テーマ「障がい福祉サービスの概要と支援の実際」
講　師	町役場 民生部福祉課 課長補佐兼障がい福祉係長 横幕みち代氏
参加者	15名

② 地区支えあい活動支援事業

介護予防・生活支援に資する地域での支えあい活動を推進する団体として、「大野町第6地区支えあいの会」に対し、定例会にて情報共有を行い地域の関係者との連携強化を図るとともに福祉講座の開催等を支援した。

8　共同募金配分金事業

地域から寄せられた赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金の配分を受け、支えあう地域づくりを目指した交流事業や、サロン活動などの事業に活用した。

⑴ 一般募金配分金事業　　財　源：共同募金配分金、会費
事業費：予算額　２，７３１千円　決算額　２，１２９千円

① 福祉のふれあい広場

地域住民の福祉に対する理解が深まるきっかけづくりとして、ボランティア連絡協議会との協働のもと広場を開催し、福祉・防災に関する体験イベントの実施、ボランティア団体の活動紹介等を行った。

【事業概要】

実施日	令和6年11月3日（日）
場　所	町福祉センター前　芝生広場
内　容	・リズム体操 ・イベント（防災・福祉・ものづくり等） ・物販 ・チャリティー抽選会　他
協　力	・大野町ボランティア連絡協議会　58名（15団体） ・大野町身体障がい者福祉協会　７名 ・イベント講師　5名

② ふれあい食事サービス「ニコちゃん弁当」

８０歳以上のひとり暮らしで見守りが必要な方を対象に、ボランティア団体「ニコニコ会」による手作り弁当を届け、「食の支援」と「安否確認」を行った。民生委員・児童委員、福祉委員の協力を得て弁当を届けることで、地域の見守り活動を推進した。（ 7月、9月は弁当に代えてお菓子・飲み物を配達。）

【配達】

区分	R6年度	R5年度	R4年度
利用申込者	115名	95名	89名
実施回数	11回	11回	11回
配食数	1128食	1,008食	873食
配達・調理ボランティア	459名	429名	416名

【講習会】

ニコニコ会の活動に関する支援の一環として、会員を対象とした勉強の機会を設けた。

実施日	令和6年7月10日（水）
場　所	町総合町民センター　２階　大会議室
内　容	演題　「フレイル予防で健康長寿めざせ100歳‼」 講師　岐阜ヤクルト販売（株）
参加者	15名

③ バースデイ記念品贈呈事業

町内在住の95歳、100歳の誕生日を迎える方へ、ご長寿のお祝いとして、もみじの里利用者による自主製品と町内製品を梱包した記念品をお届けした。

年齢	該当者
100歳	5名
95歳	33名

④「社協だより」発行事業

隔月で「社協だより」を発行し、社会福祉協議会に対する理解の向上と住民の福祉活動への参加促進に努めた。

⑤ 安心カード普及継続支援事業

ひとり暮らしの高齢者など、要支援者の迅速な救急活動につながる「安心カード」を民生委員・児童委員と連携し、地域での普及に努めた。

・延べ登録人数：2,494名

⑥ 地域の居場所づくり活動継続事業

地域のつながり、見守りの場として期待される住民主体のサロンやカフェの活動が、継続していけるよう活動内容の相談、講師派遣、感染予防・レク用具等の貸出を行った。

【地域の居場所】

区分		件数	備考　※（）は件数
社協登録	まちカフェ	2	全地区対象(2)
	ふれあいいきいきサロン	27	全地区対象(1)、1区(3)、2区(7)、 3区(7)、4区(4)、5区(3)、6区(2)
	施設カフェ	4	※認知症カフェ 桜坂、ぎふ愛の里、セントケアおおの、まほろば
	障がい児者の集いの場	1	卒業生わいわいグループ
独自	独自サロン （地域カフェ）	11	全地区対象(2)、黒野東・南区(3)、上秋区(1)、 瀬古区(1)、中之元(1)、大衣斐区(1)、 五之里区(1)、本庄区(1)
	子どもの集い場	3	さなぎの杜、子ども食堂「紙ひこうき」、 子ども食堂「第1公民館」
合計		48	

【ふれあいいきいきサロン】

区分	登録箇所	登録者数	延開催数	備考
R6年度	27	732	273	2ヶ所休止中
R5年度	28	715	218	1ヶ所休止中
R4年度	23	559	195	2ヶ所休止中

【補助金交付】

ふれあいいきいきサロン及び施設で実施する認知症カフェに対し、開催予定月に応じて月額1,500円の補助金を交付した。

区分	件数	延開催数	金額
ふれあいいきいきサロン	27	273回	409,500円
施設カフェ	4	36回	54,000円
合計	31	309回	463,500円

【サロン保険加入】

ふれあいいきいきサロンの登録人数、活動日数に応じた保険加入の手続きと保険料の負担を行い活動中の怪我等に対応した。

区分	件数	登録延人数	金額
ふれあいいきいきサロン	27	4,662名	60,606円

【講師等派遣】

ふれあいいきいきサロン活動者から、講師等派遣の相談を受付け派遣依頼の調整を行った。

区分	R6件数	R5件数	備考
音楽療法	19	16	音楽療法士
健康づくり	54	32	介護施設職員
栄養管理	0	3	栄養士、保健師等
生活安全	5	9	消費者センター、警察署等
防災	12	4	ボランティア団体、消防署等
娯楽（鑑賞）	34	18	住民ボランティア、施設職員等

⑦ 地域の居場所づくり活動支援事業（立上げ支援）

【居場所づくり】

福祉委員会や地域福祉懇談会等からあがった地域課題の解決につなげるため、サロン等の立ち上げに向けた相談・協議や既存サロンの視察調整等の支援を行った。

・集いの場に関する相談　第４地区（中之元区）

※令和6年度、中之元区でプレサロンの実施、令和7年度本格稼働

【代表者交流会】

既存サロン・カフェ代表者の交流の機会を設け、地域の方が参加しやすい活動にするための工夫など意見交換を行ったほか、本会が貸出しを行う用具の体験会を実施した。

実施日	令和7年2月5日(水)
場　所	町総合町民センター　多目的ホール
内　容	活動状況等の情報交換および講師による講座の提案と交流
	地域の居場所づくり活動に対する支援について
参加者数	・サロン(18ヶ所)32名、地域カフェ(4ヶ所)5名 ・サロン立上げ検討者(1地区)1名 ・子どもの居場所づくり支援団体(2団体) 4名 ※内サロン等代表兼務者3名 ・集いの場イベント講師４名　 計43名

⑧ 安心・安全のまちづくり活動支援事業

赤い羽根共同募金を活用し、災害時のトイレや更衣室用簡易テント等、災害ボランティアセンターの運営に必要な資材の整備を行った。

⑵ 歳末たすけあい募金配分金事業　　財　源：共同募金配分金

事業費：予算額　１，５５３千円　決算額　１，１７６千円

① 在宅援護事業

新たな年を迎える時期に支援を必要とする方や福祉施設へ見舞金等の配付を行った。

対象	対象数(名)	金額	備考
要介護4・5 該当者	46	138,000円	商工会商品券
身体障がい者手帳所持者	14	42,000円	〃
療育・精神手帳所持者	22	66,000円	〃
要支援世帯	3	9,000円	〃
福祉施設	6	75,000円	見舞金

② 高齢者交流事業【新春お弁当配達】

新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、食事会から配食へ変更し実施した。
70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、民生委員・児童委員、主任児童委員及び福祉委員の協力を得てお弁当を配達し、配達時にあいさつを交わすことで、地域のひとり暮らしの高齢者の状況把握とその後の支援につながるきっかけづくりを行った。

地区	対象者数(名)
第１地区	74
第２地区	70
第３地区	48
第４地区	57
第５地区	27
第６地区	19
合計	295

配達協力者	人数(名)
民生委員・児童委員	34
主任児童委員	2
福祉委員	94
区長	33
合計	163

③ 障がい者交流事業

運動指導員の篠田薫氏による健康体操を通じた交流やお茶会を共にすることで地域住民や障がい者間の親睦を深めた。

実施日	令和7年1月22日(水)
場 所	就労支援センターもみじの里
内 容	交流会
参加者数	26名

④ 貸出用具整備事業

サロン活動や地域行事等に使用するレクリエーション用具や車椅子、新型コロナウイルス対策用具として活用する手指消毒液等を整備し、要望に応じて貸し出しを行った。

貸出先	地域サロン、ボランティア団体、自治会、公民館等
件　数	90件

高齢者支援拠点

財　源：介護保険事業収入、障害福祉サービス事業収入、町受託金

事業費：予算額　４０，２５０千円　決算額　３９，０７５千円

9　介護事業

⑴　訪問介護事業　　体　制：正職員３名、パート職員１名

① 訪問介護事業

【事業の概要】

・介護予防訪問介護事業

総合事業における要支援１または要支援２の認定を受けた方を対象に、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるように、要介護状態になることをできる限り予防することを目的とし、本人が出来ることはできる限り本人が行うことを基本として、掃除や買い物等の生活援助を行った。

・訪問介護事業

介護保険に基づく要介護１から要介護５の認定を受けた方を対象に、利用者及びその家族の状態等を踏まえてサービス計画を作成するとともに、在宅生活に対する支援として、食事介助、排泄援助等の介護や、掃除、通院介助等の援助を介護職員の訪問により実施した。

【介護度別の利用者実人数】　（単位：名）

サービス内容区分	介護予防訪問介護			訪問介護					合計
介護度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
R6目標数値	0	1	7	8	7	5	1	1	30
実人数	0	0	6	4	3	5	2	1	21

【月別のサービス提供状況】

区分	介護予防訪問介護		訪問介護		利用者実人数合計（名）	提供延回数合計（回）
	利用者実人数(名)	提供延回数(回)	利用者実人数(名)	提供延回数(回)		
R6目標数値	95	190	260	3,070	355	3,260
4月	8	45	13	209	21	254
5月	8	53	12	181	20	234
6月	8	55	13	241	21	296
7月	7	57	15	264	22	321
8月	7	52	14	257	21	309
9月	7	51	16	261	23	312
10月	6	52	17	274	23	326
11月	6	49	16	229	22	278
12月	6	45	17	218	23	263
1月	7	38	17	214	24	252
2月	6	36	16	154	22	190
3月	6	40	18	162	24	202
R6年度計	82	573	184	2,664	266	3,237
R5年度計	92	539	178	2,643	270	3,182
R4年度計	92	521	170	2,467	262	2,988

② 障害福祉サービス事業

ア．居宅介護・重度訪問介護サービス

【事業の概要】

障害者総合支援法に基づき障がい者宅へ介護職員が訪問し、在宅生活に必要な食事・掃除援助や、排泄・入浴など身体介護を提供するとともに、生活に関する相談や助言など生活全般にわたる援助を実施した。

【月別のサービス提供状況】

区分	利用者実人数(名)	身体介護延回数(回)	家事援助延回数(回)	提供延回数合計(回)
R6目標数値	120	310	1,100	1,410
4月	10	33	76	109
5月	10	38	83	121
6月	10	32	82	114
7月	9	40	70	110
8月	9	34	69	103
9月	9	36	61	97
10月	9	41	68	109
11月	9	33	65	98
12月	9	34	61	95
1月	9	30	56	86
2月	9	26	60	86
3月	8	34	69	103
R6年度計	110	411	820	1,231
R5年度計	110	285	837	1,122
R4年度計	110	242	809	1,051

イ．移動支援サービス

【事業の概要】

単独で外出することが困難な障がい者を対象に、日常生活上や余暇活動並びに社会参加のための外出をする際に、安全に外出できるよう介護職員が同行し必要な支援を行った。

【月別利用状況】

区分	利用人数(名)	利用回数(回)
R6目標数値	50	75
4月	3	4
5月	3	7
6月	3	5
7月	3	6
8月	3	6
9月	3	6
10月	4	9
11月	4	9
12月	4	10
1月	4	6
2月	4	9
3月	5	13
R6年度計	43	90
R5年度計	33	76
R4年度計	37	77

⑵ 居宅介護支援事業　　体　制：正職員２名、嘱託職員１名

【事業の概要】

介護保険に基づく認定を受けた方を対象に、介護支援専門員が介護サービスの利用を希望された方の心身の状態や、環境、意向、更にはご家族の要望を踏まえた居宅サービス計画を作成し、利用者が安心してサービスを利用できるように関連機関やサービス提供事業所との連絡調整を実施した。

【介護度別の利用者実人数】　　(単位：名)

サービス内容区分	介護予防支援			居宅介護支援					合計
介護度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
R6目標数値	1	4	20	30	20	8	7	5	95
実人数(名)	0	4	18	19	16	4	2	2	65

【月別のサービス提供状況】　　(単位：件)

区分	計画数		合　計
	介護予防支援	居宅介護支援	
R6目標数値	300	840	1,140
4月	27	43	70
5月	28	42	70
6月	30	40	70
7月	31	39	70
8月	28	42	70
9月	26	47	73
10月	24	49	73
11月	25	48	73
12月	24	46	70
1月	23	44	67
2月	22	44	66
3月	22	43	65
R6年度計	310	527	837
R5年度計	294	576	870
R4年度計	285	687	972

障がい者支援拠点

財　源：障害福祉サービス事業収入、就労支援事業収入、町受託金
事業費：予算額　４４，１９０千円　決算額　４０，９２５千円

１０　障がい者支援事業

(1) 就労継続支援事業

① 本部事業　　体　制：正職員３名、嘱託・パート職員４名

【事業の概要】

利用者及びご家族のニーズに応じて策定した個別支援計画に基づき、就労に必要な知識・能力の向上のための訓練、支援を行った。また、社会参加支援として、社会性の獲得や豊かな生活づくりへつながることを目的として、交流事業を開催した。

[バラ公園出店]

[避難訓練]

【月別の利用者数（1日の受入定員20人）】　（単位：名）

R6年度						R5年度	R4年度
区分	知的障がい	身体障がい	精神障がい	知的障がい身体障がい	合計利用者数	合計利用者数	合計利用者数
R6目標数値					288	—	—
4月	8	3	8	3	22	18	23
5月	8	3	8	3	22	17	24
6月	8	3	7	3	21	17	25
7月	8	3	7	3	21	16	24
8月	8	3	7	3	21	15	23
9月	8	3	7	3	21	16	23
10月	8	3	7	3	21	17	23
11月	8	3	7	3	21	17	23
12月	8	3	7	3	21	21	23
1月	8	3	7	3	21	21	23
2月	8	3	7	3	21	21	23
3月	8	3	7	3	21	21	23
合計	96	36	86	36	254	217	280

② 受託事業

企業名	作業内容
ハローバッグ	紙袋の二次加工
大鹿印刷所	箱折・袋詰め・シール貼り等
コーセーフーズ	箱詰め・封入
緑門	茶の実の選別
太陽紙工株式会社	祭壇の二次加工
古田製作所	ラベル貼り
いび川農業協同組合	コインランドリー清掃
グミリ	縫製作業

（単位：円）

区分	R6目標数値	R6年度	R5年度	R4年度
ハローバッグ	720,000	607,773	649,832	697,357
大鹿印刷所	600,000	663,951	363,628	599,535
コーセーフーズ	156,000	120,905	156,038	133,803
いび川農業協同組合	312,000	308,000	310,000	310,000
古田製作所	60,000	108,208	52,312	19,240
緑門	90,000	71,660	90,820	83,740
太陽紙工株式会社	108,000	111,870	100,080	-
法人本部	5,500	11,150	9,016	54,000
グミリ	-	1,800	-	-
合計	2,051,500	2,005,317	1,731,726	1,897,675

③ 自主製品販売事業

ぼかし・小物（縫製、木工等）の製作、販売を行った。

製品	販売所
ぼかし 小物製品	就労支援センターもみじの里 よってみーな大野 よってみーないび バラまつり・ふれあい広場（出店）

【製品別収入】　（単位：円）

区分	R6目標数値	R6年度	R5年度	R4年度
ぼかし	356,400	88,660	83,400	113,200
小物	918,000	665,690	602,580	534,320
合計	1,274,400	754,350	685,980	647,520

【月別の平均工賃】

受託・自主製品販売収入より必要経費を差し引いた額を通所利用者に工賃として支払った。

（単位：円）

区分	平均工賃
4月	6,274
5月	7,450
6月	6,401
7月	5,664
8月	7,490
9月	7,281
10月	6,166
11月	7,588
12月	5,856
1月	12,197
2月	8,751
3月	10,614
最高	17,396
最低	40

区分	平均工賃
夏季賞与	7,485
冬季賞与	15,977
年度末賞与	25,706
最高	24,117
最低	17

【年度別】

区分	平均工賃
R6年度	13,730
R5年度	11,409
R4年度	12,556

※年度別平均工賃の額は、工賃総額÷（年間延べ利用者数÷年間開所日数）÷12ヶ月で算出

※月当たりの工賃最低額、賞与の最低工賃額は、月1回１時間程度の通所利用者の額

⑵ 相談支援事業　　体　制：正職員２名

① 一般相談支援事業

ア．一般相談支援事業

【事業の概要】

障がいのある方が地域において、自立した日常生活または社会生活を営むための情報提供や助言などを行うほか、地域生活への移行・定着に関する支援を適切に行うことができるよう体制を整えた。

【一般相談支援事業】　（単位：名）

区分	地域移行支援	地域定着支援
R6目標数値	1	1
R6年度	0	0

イ．障がい者相談支援事業

【事業の概要】

大野町から地域生活支援事業に基づく相談支援事業の委託を受け、障がい者・児の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい者・児やその家族、地域住民、各関係機関からの相談に応じた。福祉サービスの利用に関する助言や不安の解消に関する相談等を行い、各関係機関と連携を取りながら情報提供、情報共有を行う中で、特定相談支援事業・障害児相談支援事業（障害福祉サービスの利用）への移行に繋げる等、障がい者・児が地域で安心して暮らせるよう支援した。また、町内で暮らす障がいのある方により良い支援の提供と、障がいがあっても暮らしやすい大野町の実現のため、障がい者支援関係者のネットワークの構築を行い、相談の質の向上を図った。

【利用している障がい者・児の人数】　（単位：名）

区分	知的障がい		身体障がい		精神障がい		その他		合計 利用者数
	者	児	者	児	者	児	者	児	
R6年度	11	0	9	0	12	0	5	0	37
R5年度	9	0	10	0	13	0	6	3	41
R4年度	12	0	8	0	12	1	0	0	33

【支援方法】　（単位：名）

区分	訪問	来所	同行	電話	ﾒｰﾙ	ｹｰｽ 会議	関係 機関	その他	合計
R6年度	21	4	9	36	8	3	178	1	260
R5年度	31	4	5	50	2	13	163	3	271
R4年度	35	5	6	59	3	11	120	13	252

【支援内容】　（単位：件）

支援内容	相談数		
	R6年度	R5年度	R4年度
福祉サービスの利用に関する支援	84	98	121
障がいや症状の理解に関する支援	0	0	1
健康医療に関する支援	75	51	45
不安の解消・情緒安定に関する支援	4	4	9
保育・教育に関する支援	0	3	5
家族関係・人間関係に関する支援	14	24	19
家計・経済に関する支援	45	36	13
生活技術に関する支援	11	18	16
就労に関する支援	16	9	10
社会参加・余暇活動に関する支援	0	0	0
権利擁護に関する支援	4	23	0
その他	7	5	13
合計	260	271	252

② 特定相談支援事業

【事業の概要】

障がい者の抱える課題に対して、適切なサービスが提供できるよう計画を作成し、ひとりひとりのニーズに合わせたサービスが継続して利用できているか、また新たな課題はないか等、定期的にモニタリングを行うことで柔軟な対応を行った。

また、家族支援が必要な相談も増えてきており、関係機関との連携を図りながら迅速な対応を心掛け取り組んだ。

【サービス利用支援・サービス継続利用支援実施状況】　（単位：件）

区分	サービス利用支援 （利用計画作成）	サービス継続利用支援 （ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ）※加算含	合計
R6目標数値	89	207	296
R6年度	99	200	299
R5年度	128	169	297
R4年度	87	142	229

③ 障害児相談支援事業

【事業の概要】

障がいのある児童が障害児通所支援（児童発達支援や放課後等デイサービス等）の利用をするための、障害児支援利用計画の作成やモニタリングを定期的に行った。関係機関との連携を図りながら迅速な対応を心掛け取り組んだ。

（単位：件）

	サービス利用支援（利用計画作成）	サービス継続利用支援（モニタリング）	合計
R6目標数値	144	186	330
R6年度	122	221	343
R5年度	133	180	313
R4年度	129	102	231

子育て支援拠点

財　源：保育事業収入、町補助金収入

事業費：予算額　１４４，５３１千円　決算額　１４１，３５０千円

１１　東さくらこども園事業

(1) 東さくらこども園事業　　体　制：正職員１０名、パート職員１８名

【事業の概要】

保育を必要とする子を預かり、「生きる力を育む教育・保育～自己決定の出来る子に～」を保育理念として、通園する子の最善の利益を考慮しながら、就学前の人間形成の中で一番大事な時を自ら考え、決定し実行出来る子の育成を目指した。また、教育・保育の質の向上を図るため、自己評価を行った。

【特別な保育事業】

名称	内　容
障がい児保育	障がいを持った子に適したきめ細やかな保育
延長保育	午前7時～午後7時までの保育
乳児保育	生後3ヶ月からの0歳児保育
一時保育	保護者の傷病等による緊急時の一時的な保育
体育教育	楽しみながら運動能力を伸ばす教育
英語教育	楽しみながら英語に親しむ教育
情操教育	わらべうた遊びなど伝承を用いた情緒を豊かにする教育

【月別の通園者数】　（単位：名）

区分	R6年度							R5年度	R4年度
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	月計		
目標数値	60	120	180	240	240	240	1,080	1,070	1,400
4月	4	7	14	20	21	19	85	96	103
5月	4	7	14	20	21	19	85	96	101
6月	5	7	13	20	21	19	85	96	103
7月	5	8	15	20	21	19	88	96	105
8月	5	8	16	20	21	19	89	96	108
9月	5	8	15	20	21	19	88	98	109
10月	5	8	15	20	21	19	88	98	113
11月	5	8	15	20	21	19	88	99	112
12月	5	7	15	20	20	19	86	99	111

1月	5	6	15	20	20	19	85	99	111
2月	5	7	15	20	20	19	86	99	113
3月	5	7	15	20	20	19	86	99	113
合計	58	88	177	240	248	228	1,039	1,171	1,302

(2) 子育て支援センター事業　　体　制：パート職員３名

【事業の概要】

乳幼児を持つ親が安心して相談できる場作りを行うとともに、親の孤立感を和らげ育児不安や育児の負担の軽減を図るため、子育ての情報提供や子育てサークル等への支援を通して安心して子育てができるよう推進した。

（単位：名）

R6年度				R5年度	R4年度
名称	実施日	内容	利用者数	利用者数	利用者数
わくわく教室	毎週月曜日～金曜日	年齢に合った体操や遊びを行った	116	80	113
すくすく教室	毎週月曜日～金曜日	行事や講師による遊びなどで親子の触れ合いを行った	136	312	272
のびのび教室	毎週月曜日～金曜日	講師による英語教室やドレミ遊び、発育測定の際の育児相談を行った	339	86	98
プレママ教室	令和6年6月6日（木） 令和6年8月8日（木） 令和6年10月24日(木) 令和7年1月23日（木）	妊婦または出産後の母親向けに、助産師との相談や子育て情報の提供、アドバイスをした	19	17	6
子育て支援ネットワーク	毎月第4木曜日（面談）	専門家による面談・相談で育児不安の軽減を図った	40	46	23
子育てサロン	令和6年12月24日(火) 令和6年12月25日(水)	第1公民館を利用し、親子で触れ合って遊び会を行った	19	19	20
メール配信	週1回・随時	携帯電話に支援センターの予定や子育て情報を配信した	—	—	—
園庭開放	月曜日～金曜日 午前9時30分～午後3時	園庭・支援室の開放を行った(人数制限)	189	139	179
サークル活動	毎週火曜日	母親の自主的なサークル活動を推進した	65	47	31
出前教室	1～2回／月	第1公民館で出前保育を行った	94	66	80
子育て通信	1回／月	毎月の活動計画や子育て情報を掲載した通信を配布した	—	—	—

[わくわく教室　素材遊び]

[わくわく教室　お店やさんごっこ]

１２　その他の事業

⑴ 岐阜県共同募金会事業

共同募金事業の推進を図るため、社会福祉活動を支える重要な財源であるという趣旨の周知を行い、募金運動を展開した。

期　間	令和6年10月1日～12月31日		
募金額（円）	戸別募金	3,091,500	広報委員へ依頼
	法人募金	430,238	依頼文書発送による口座振込
	その他	270,527	赤い羽根協力店等での募金
	合　計	3,792,265	

※募金運動期間後の募金額を含む

⑵ 日本赤十字社事業

日本赤十字社事業を推進するため社資を募集し、交付金にて献血事業支援、災害救援、奉仕団活動支援など、地域福祉に関する事業を行った。

期　間	令和6年5月1日～6月19日	
募金額（円）	一般社資	3,249,500
	法人社資	180,000
	合　計	3,429,500

⑶ 災害義援金募集事業

災害における義援金等の募集受付を行い、日本赤十字社岐阜県支部及び岐阜県共同募金会へ送金した。

【日本赤十字社岐阜県支部】

義援金名	募金額（円）
2024台湾東部沖地震救援金	13,786
能登半島地震災害義援金	13,881
イスラエル・ガザ人道危機救援金	640
合　計	28,307

【岐阜県共同募金会】

義援金名	募金額（円）
令和6年能登半島地震災害義援金	244,304
令和6年7月山形県大雨災害義援金	767
令和6年能登豪雨災害義援金	10,379
大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金	1,357
合　計	256,807

⑷ 遺族会事務

大野町遺族会との共催により戦没者の追悼式を執り行ったほか、揖斐郡遺族連合会の事務及び慰霊祭等を行った。

【大野町遺族会 戦没者追悼式】

実 施 日	令和6年9月26日(木)
場　　所	町総合町民センター　多目的ホール
参加者数	38名

【揖斐郡遺族連合会 戦没者慰霊祭】

実 施 日	令和6年6月18日(火)
場　　所	揖斐川町三輪　三輪神社
参加者数	53名

[三輪神社・戦没者慰霊祭]